

茨歯発第 277 号
令和7年1月23日

茨城県歯科衛生士会長 岩村 昌子 様

茨城県歯科医師会
会長 榊 正 幸

介護保険講習会について

向春の候、貴殿益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
また日頃より、介護保険活動にご理解とご協力をいただき、深く御礼申し上げます。
さて、この度、本会において介護保険事業の一環として標記講習会を下記により開催することになりましたので、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

- 日 時：令和7年3月23日(日) 午前10時～12時
- 会 場：茨城県歯科医師会館 3階講堂 ※会場参加のみ
水戸市見和2-292-1 TEL029-252-2561
- メインテーマ：軽度認知障害（MCI）における医科歯科連携について考える
～かかりつけ医、かかりつけ歯科医の立場から～
- 演 題・講 師：『軽度認知障害（MCI）における医科歯科連携について考える
～かかりつけ医の立場から～』
日立市医師会 工藤 純夫先生
『認知症予防(先送り)は「かかりつけ歯科医院」の新たな役割
～認知症サポート医との医科歯科連携の成果～』
日立歯科医師会 黒澤 俊夫先生
- 略 歴・抄 録：別紙
- 対 象 者：医療従事者 ※診療所スタッフの受講も可能です。
- 定 員：会場参加者定員60名
- 受 講 料：無料
- 申 込 方 法：下記URL又はQRコードからの申込フォームで、3月17日(月)
までにお申込下さい。

URL：<https://forms.gle/xkBd6hL3dgUqU6wc7>

QRコード：



『軽度認知障害 (MCI) における医科歯科連携について考える

～かかりつけ医、かかりつけ歯科医の立場から～』

日立市医師会 工藤 純夫

講演抄録：

高齢化が進むなか、認知症及びその前段階である軽度認知障害 (mild cognitive impairment:MCI) の患者数は今後も世界的に増加することが予測されております。

2022年に発表された日本の地域高齢者における軽度認知障害(MCI)の有病率は15.5%、

632万人で性年齢階級別のMCI有病率は男性の方が女性よりも高く加齢に伴って上昇傾向を認めております。

認知症治療はまさに予防医学の段階に入りつつある中、ついに2023年末に我々が夢見続けてきた脳病態へ直接介入する抗アミロイドβ抗体薬が臨床に用いられるようになりました。この早期アルツハイマー病の新薬はこれまでなかったMCIの治療薬でもあります。MCIは正常と認知症の中間の状態と診断が難しく、あくまで病気ではないという概念でありましたがバイオマーカーの進歩により、より正確な診断が可能になりました。しかし、アミロイドPETなどは限られた医療施設でしか行うことが出来ず現実的に一般診療に取り込むことは難しいと考えられます。そこでやはり重要なのは臨床家が長年積み上げてきた症候学だと考えております。認知症の症候学は診断に役立つだけでなく患者自身やその家族、介護者が直面している問題を理解するうえでも重要です。今回、「かかりつけ歯科医」との連携で互いの症候学から得られた所見を情報提供し協議することで健常者とMCIそして認知症の弁別が可能であった症例やMCIから認知症への移行を早期に特定できた症例を紹介し医科歯科連携についてお話させていただきます。

【略歴等】

1981年 聖マリアンナ医科大学卒業

1985年 順天堂大学脳神経外科医局員

1986年 日立製作所 日立総合病院 脳神経外科医長

1994年 日立さくらクリニック開業

1996年 「もの忘れ外来」・脳活性化訓練「楽遊会」開設

2007年 日立市医師会「日立市認知症ネットワーク」作りに関わる

2015年 認知症サポート医・日立市認知症初期集中支援チーム員

日立市地域医療協議会 認知症地域ケア検討委員会委員長

日本脳神経外科学会 専門医、日本認知症学会 専門医、指導医、医学博士

【所属学会】

日本脳神経外科学会、日本認知症学会